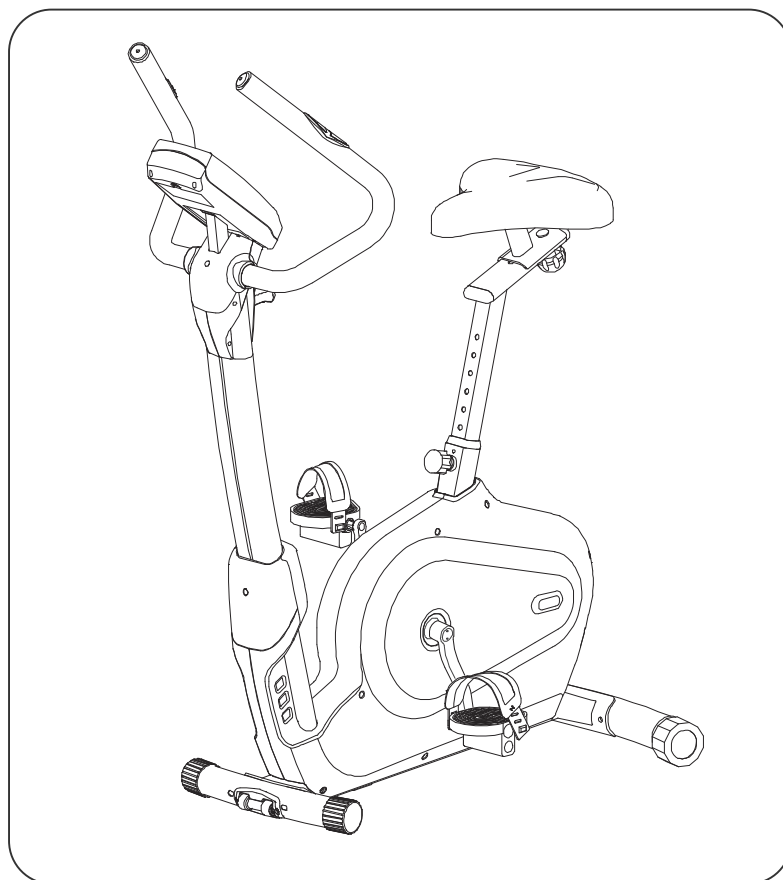


**REMARK**   
FUJIMORI  
HOME TRAINER FB-680HP

取 扱 説 明 書



**家庭用**

このたびは本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
正しくお使いいただくために、ご使用前には必ずこの説明書をお読み下さい。  
取扱説明書はお読みになったあとも大切に保管してください。

在日外国人の方はこの取扱説明書を通訳できる方から説明を受けてください。

For your safety and comfort. If you are alien who live in Japan, please ask someone who understand this manual to make detailed explanation for you.

# もくじ

「安全におつかいいいただくために」はご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

## はじめに

安全におつかいいいただくために	1 ~ 7
部品一覧表	8
組立方法	9 ~ 13

## 使用方法について

負荷レベル調整方法	14
表示パネルの使用方法について	15 ~ 18
トレーニングについて	19

## トラブルシューティング

トラブルが起きたら	20
-----------	----

## その他



製品仕様、本体サイズ	20
保証書	

# 安全におつかいいただくために




このたびは マグネットバイク FB-680HP をお買い求めいただきありがとうございました。

ご使用前にこの「安全におつかいいただくために」をよくお読みになり、この製品を正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

## 図記号の例

	禁止の行為であることを告げるものです。
	警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な内容を近くに文章で示します。
	行為を強制したり指示したりする内容があることを告げるものです。

## 健康を害することを防ぐための注意事項



本機は、健康維持・増進を目的とした製品であり、事前に医師に相談する必要がある場合、また身体に病気や障害のある方はトレーニングを始める前に必ず専門の医師にご相談してから使用してください。特に次の病気のある方は、必ず医師にご相談ください。心臓病（狭心症・心筋梗塞など）、高血圧症（降圧剤を服用中の方など）、糖尿病、呼吸器疾患（ぜんそく・慢性気管支炎など）、変形性関節リウマチ、痛風など）



ご年配の方や運動習慣のない方がご使用になる場合は、念のため専門の医師、またはスポーツトレーナーにご相談ください。  
本機をリハビリテーションの目的に使用される場合は、危険防止のため必ず監督者の下で使用してください。  
ご使用前には、十分なストレッチやウォーミングアップを行って下さい。

## お子様の事故や怪我を防ぐための注意事項



お子様が遊具として使用しないよう保護者の責任で注意してください。



マシンを使用している時にお子様をマシンに近づけないでください。

## 設置上の注意事項

### 警告

防爆については、特に考慮して設計されていませんので、可燃性ガス等の発生する恐れのある環境での使用は、引火、火災、爆発の恐れがあるのでお止めください。  
マグネットバイクの改造は絶対にお止めください。

### 注意

本機は屋内での使用に限定し、屋外での使用はしないでください。また、水のかからない場所に設置・保管し、熱器具の近くや浴室の脱衣所等の湿気の多い場所への設置は避けてください。

さびが発生するおそれがありますので、注意してください。

湿度が多い、風通しが悪い、直射日光の当たる場所は避け、ほこり、塩分、硫黄分などにより、悪影響の生じる恐れのない場所に設置・保管してください。

平坦な床面に安定した状態で設置し十分に動けるスペースをとって使用してください。

使用者がトレーニング中に他の器具等に触れないような場所、また運動動作領域を十分確保できる水平な床面上に設置してください。

本体の設置部のガタつきや、ハンドルとの接合部に異常がないか、固定ノブ等の緩みがないかを確認してください。

電氣的な各接続部は、確実に接続されており、濡れたり、燃えやすい物が近くにならないことを確認してください。

本機には重い部品や、鋭利な部分がありますので、成人が組み立てて下さい。組立の際には軍手等を着用してください。

コード類を取り外す際は正しく持って取り外してください。

## 保管上の注意事項



### (保管方法及び保管上の注意)

使用しない場合は、別の用途には使用しないよう、特に子供が使用しないよう注意してください。

屋外や湿気の高いところへの保管は、さびの発生、電気部品等の不具合の原因となるため、避けて下さい。また、直射日光や高温の場所に保管しないでください。

マシンの安全を維持するために日常点検や定期点検を実施してください。

メンテナンス等で、カバーを外す場合は販売店にご相談ください。

### (お手入れ上の注意)

汚れや使用後についた汗等は、石鹼水を含ませよく絞った布で拭き、その後乾いた布で拭いて下さい。

水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭いたりしないで下さい。

油の塗布及び注油は行わないでください。

## 使用上の注意事項



トレーニングの際は運動に適したシューズ、ウェアを着用してください。  
回転、駆動部に巻き込まれるおそれがあるため、ひも類のない服装としてください。

操作者および使用者は、手や足、髪、装飾類衣服などをマシンの可動部分に近づけないでください。巻き込まれたり、挟まれたりする恐れがあります。

トレーニング中に、目まいや吐き気、その他身体に変調を感じたら、ただちに使用を中止してください。



ご使用前に各部のボルト・ナットが完全に固定されているか、ゆるみやガタつきがないか確認してください。

このマシンの使用体重制限は100kg以下です。

用途（所定の使用方法）以外の使用を行わないで下さい。

同時に2人以上での使用、後ろ向きでの走行、自分のレベルを超えた運動、飛び乗り、飛び降りは絶対にしないでください。

ご使用の前に必ずマグネットバイクの状況をチェックしてください。

マシン、および他の器具等に使用者が触れることがないように注意してください。

本機の上に絡みやすいものを置いたり、操作パネルやハンドルバーにタオル等を掛けたりしてのご使用は、本体に巻き込まれる危険がありますのでお止め下さい。

乗降する場合等に、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品や使用者を押ししたり引いたりすると、安定性を損なうおそれがあるため、注意してください。

不具合が生じた場合には、ご購入元の販売店又は輸入代理店に連絡し対処方法を確認してください。

本機の連続使用時間の目安は1時間です。それ以上の使用は故障の原因となります。

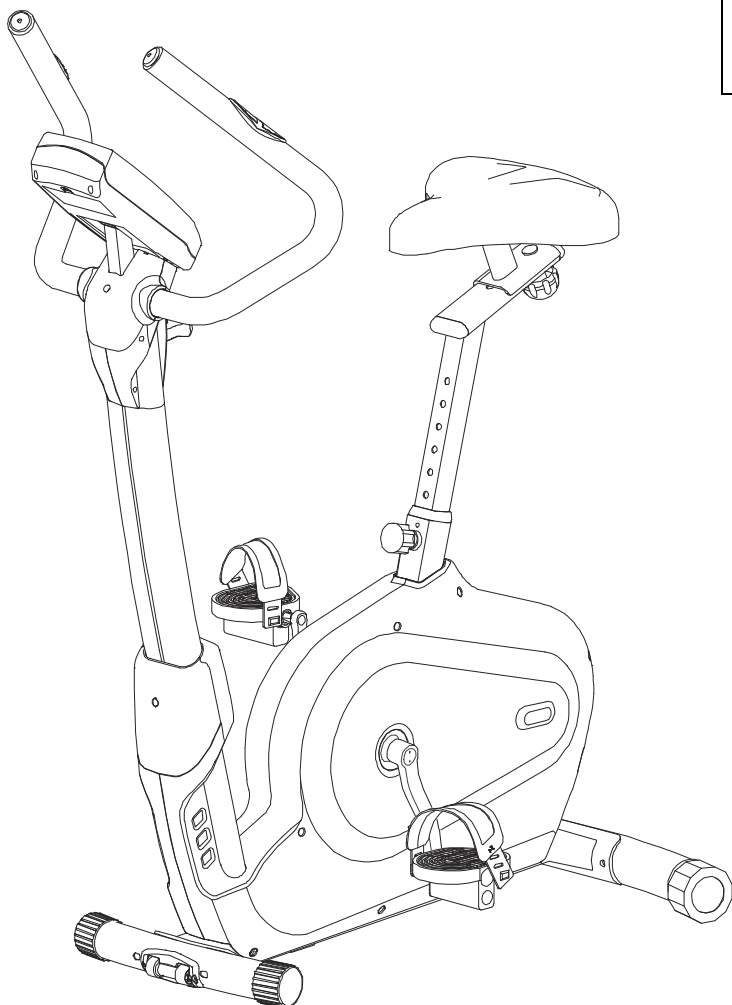
## 警告

このマシンをリハビリテーションの目的に使用する場合、危険防止のため、必ず監督者の下で使用してください。

このマシンの走行動作中は事故防止のため、監督者以外をこのマシンに近づけないでください。

## 警告

手や足、物が巻き込まれる危険がありますので、作動中は回転部に近づかないでください。



## 設置場所について

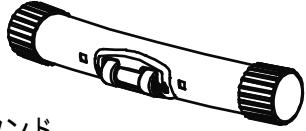
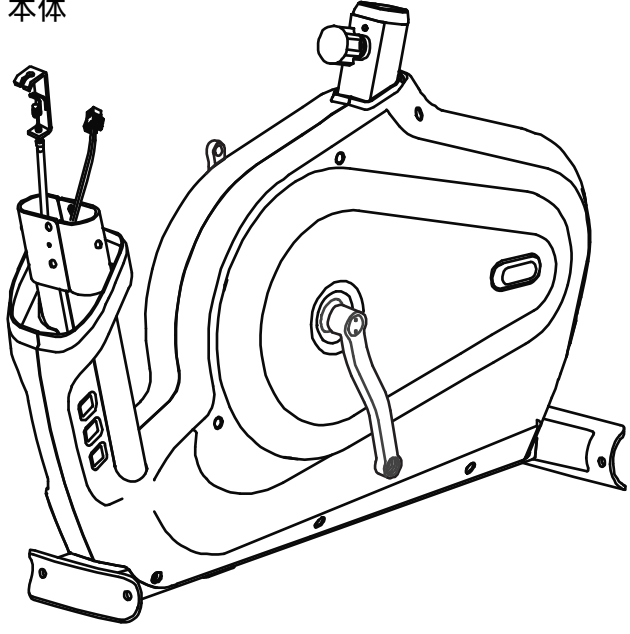
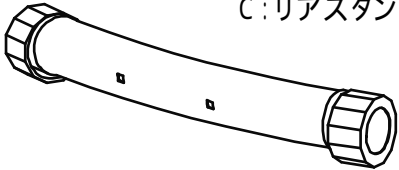
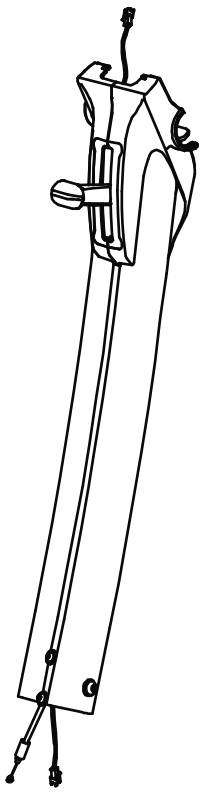
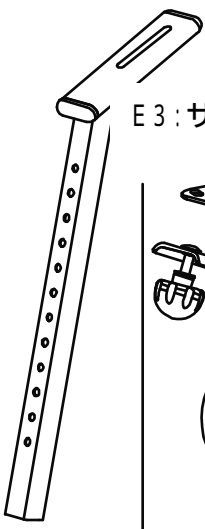
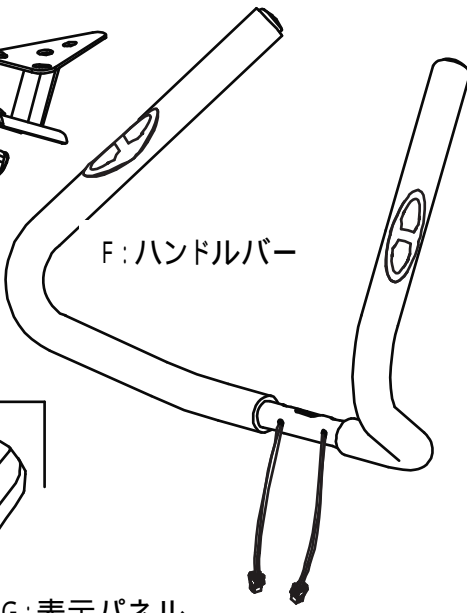

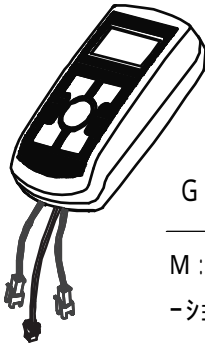


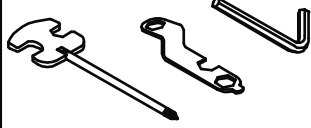
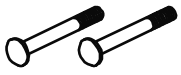






- (1) マグネットバイクの設置場所は使用者の安全を確保するために十分に広い場所を選びましょう。

なお、このマシンは液体の進入や可燃性ガスに対する防爆を考慮しておりませんので水のかからない、また可燃性物質のない場所で使用してください。

また環境条件として、室温、および湿度は四季を通じて、できる限り一定に保つようしてください。

- (2) マグネットバイクは重量がありますので、荷重に耐えうる水平な床面に設置してください。設置条件が悪い場合には共振による騒音、および振動等が発生したりしますので注意してください。

# 部品一覧表

<p>B:フロントスタンド</p> 	<p>A:本体</p> 	
<p>C:リアスタンド</p> 		
<p>D:センターポスト</p> 	<p>E:サドルポスト</p> <p>E3:サドル固定部</p>  <p>F:ハンドルバー</p> 	
<p>H:サドル</p> 	<p>G:表示パネル</p>  <p>M:リアデコレーションカバー</p>  <p>デコレーションカバー</p> <p>K1:前部 K2:後部</p>  <p>組立工具</p> 	
<p>【P1】ボルト(M8*75mm)</p>  <p>【P2】ボルト(M8*65mm)</p>  <p>【P3】ナット(M8)</p> 	<p>【P4】ワッシャー-(M8.5*19mm)</p>  <p>【P5】ボルト(M8*50mm)</p> 	<p>【P6】スプリングワッシャー-(M8)</p>  <p>【P7】ワッシャー-(M8.5*19mm)</p> 

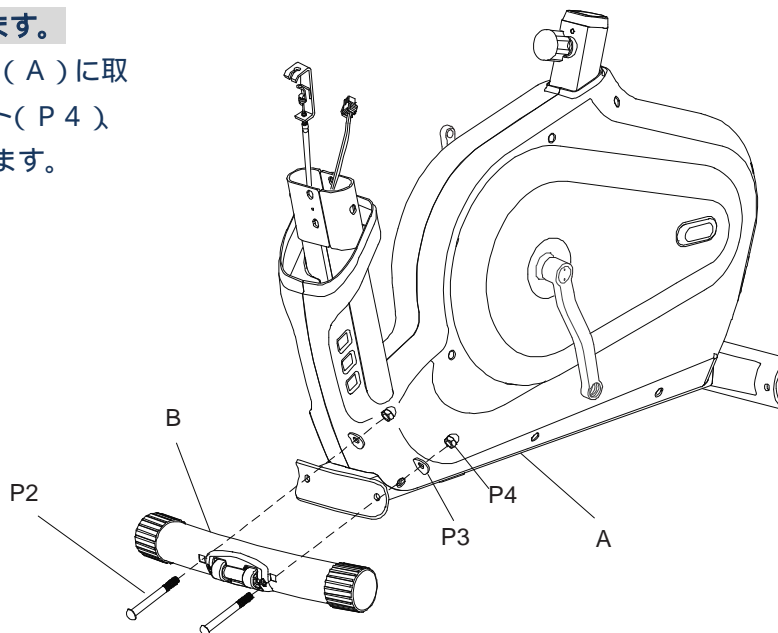
# 組立方法（ 1 ）

組立をする前に全ての部品が入っているか、ご確認ください。

## （手順 1）

### フロントスタンドを取り付けます。

フロントスタンド（ B ）を本体（ A ）に取り付けます。ボルト（ P 2 ） \ ナット（ P 4 ） \ ワッシャー（ P 3 ）で 固定します。

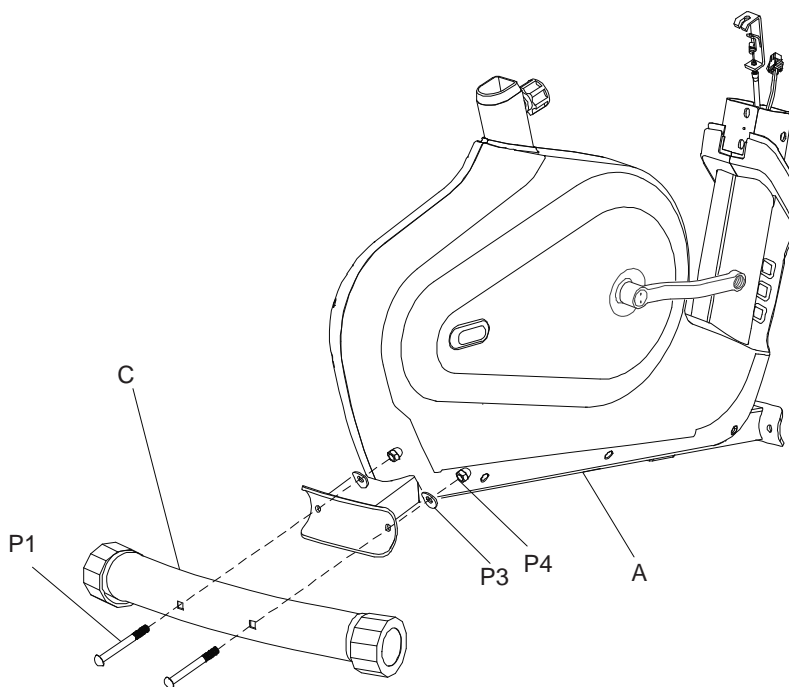


## （手順 2）

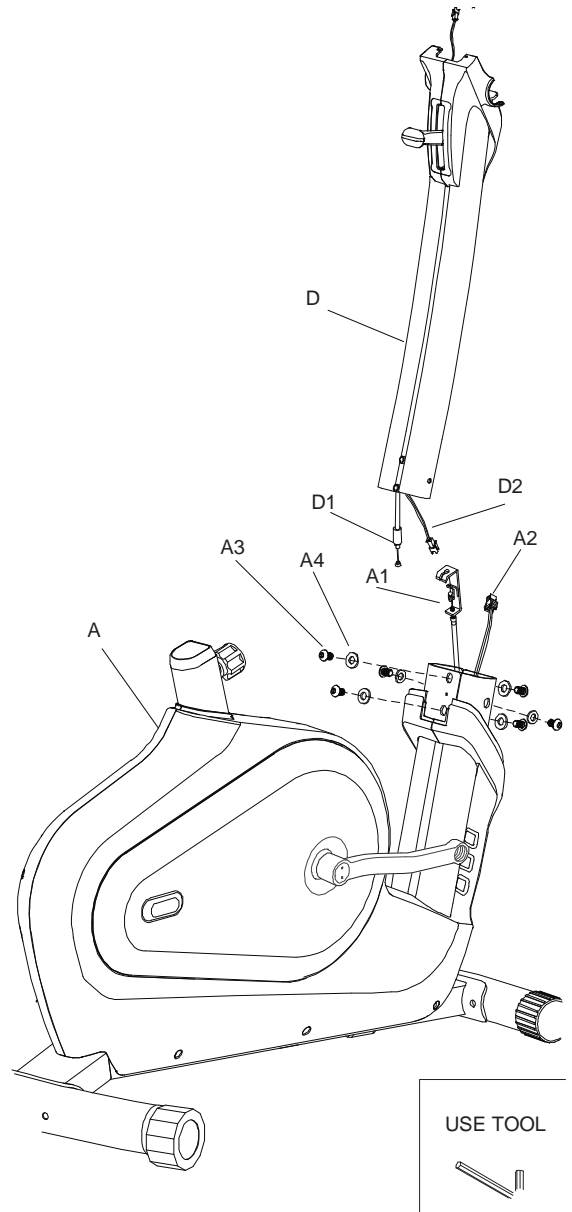
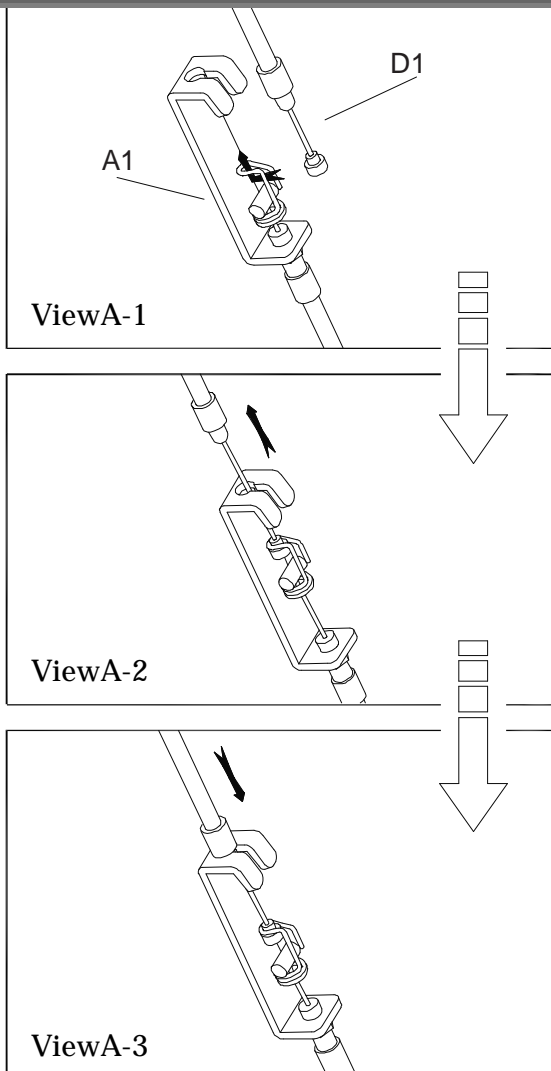
### リアスタンドを取り付けます。

リアスタンド（ D ）を本体（ A ）に取り付けます。ボルト（ P 1 ） \ ナット（ P 4 ） \ ワッシャー（ P 3 ）で 固定します。

本体の水平調整をします。フロント・リアスタンドを取付けた後、本体がガタつく場合はリアスタンドの左右に付いている調整キャップを回し、本体がガタつかないように調整します。



## 組立方法 ( 2 )



### (手順3)

#### センターポストを取り付けます。

センターポスト(D)を取り付ける前に、センサーコード(D2)をセンサーコード(A2)に接続します。負荷調整ワイヤー(D1)を本体のワイヤー(A1)と接続します。まず負荷調整ノブを「8」のレベルまで下げ、次にViewA-1のように本体のワイヤーの先端に付いているブラケット(A1)に負荷調整ワイヤーの先端(D1)をはめ込みます。ViewA-2のように負荷調整ワイヤーを引っ張りブラケットの切り込みを通し凹部に通します。引っ張っていた負荷調整ワイヤーを戻し、凹部にはめ込みます。(ViewA-3のようになります)次に、センターポスト(D)を本体(A)に差し込み、6ヶ所のネジ穴にボルト(A3)とワッシャ(A4)でしっかりと固定します。

センターポストを本体に差し込む時、コードやワイヤーを挟み込まないようにご注意ください。  
ボルト類は本体に仮止めしてありますので、はずしてお使いください。

# 組立方法 ( 3 )

## (手順4)

### サドルを取付けます。

まず、サドル(H)を裏返しにし、サドル固定部(E3)をナット(H1)、ワッシャー(H2)で固定します。この時、真っ直ぐになるように取り付けて下さい。

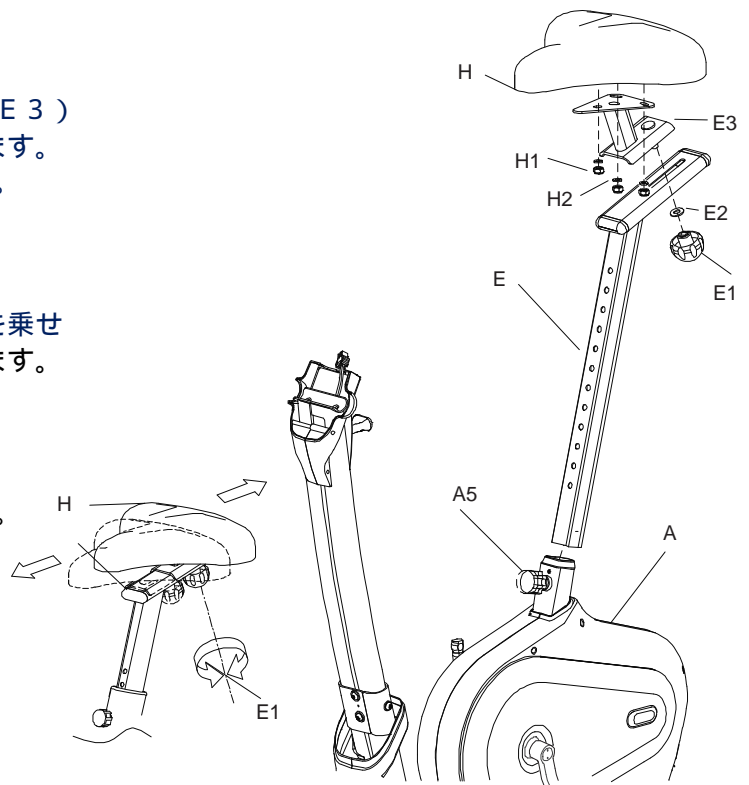
ナット類は仮止めされております。

次にサドルポスト(E)にサドル固定部(E3)を乗せ固定ノブ(E1)、ワッシャー(E2)で固定します。

サドルポスト(E)を本体(A)に取り付けます。ロックノブ(A5)を反時計回りに回し緩めてから引っ張ります。その状態でサドルポストを差し込みます。

あとは、お好みの高さ、サドル位置前後を調整してください。

調整した後は必ず固定ノブを締め込んでください。



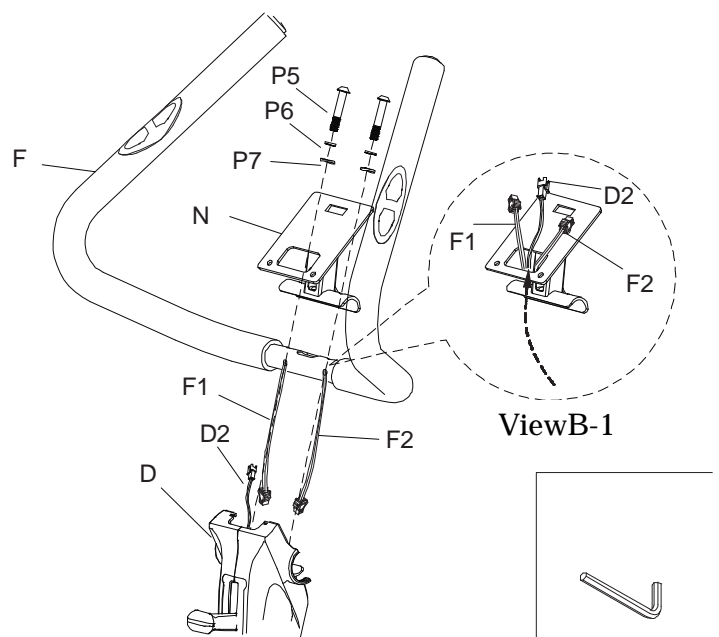
## (手順5)

### ハンドルバーを取り付けます。

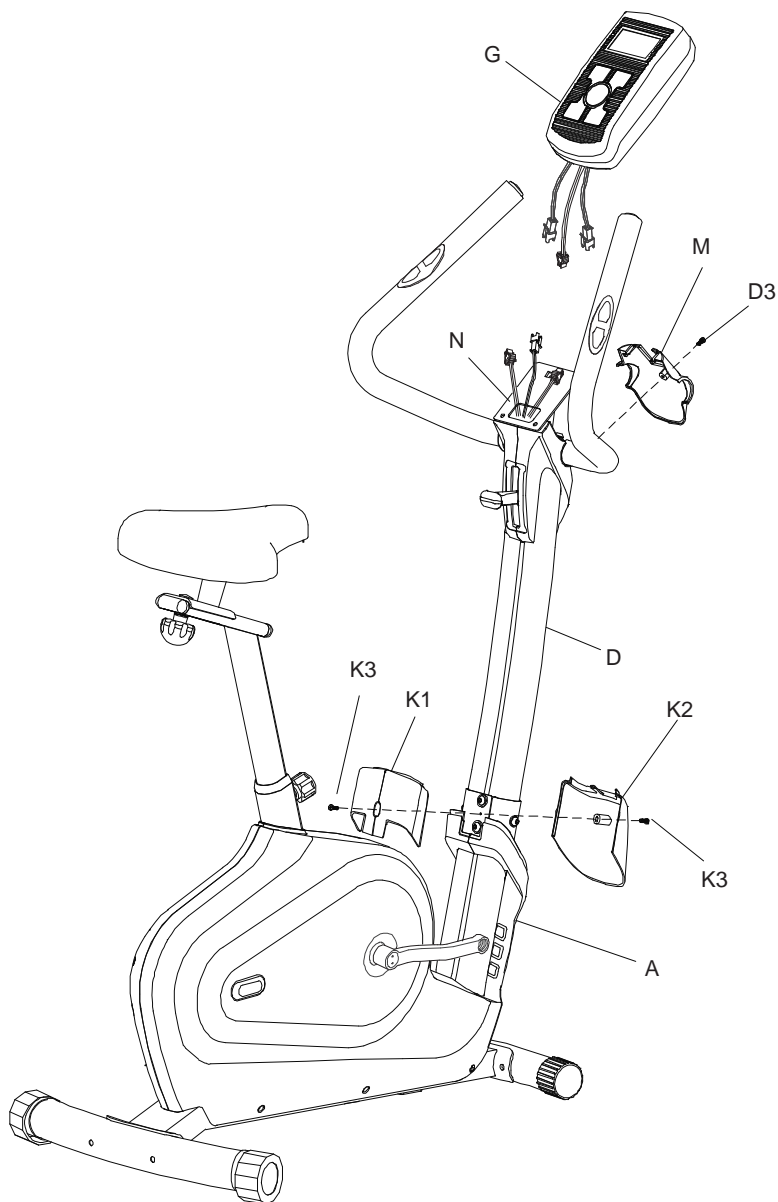
まず、ハンドルバーを本体取り付け箇所に乗せ、パネルホルダー(N)で挟み込みます。その際、パネルホルダーにハンドルバーから出ているコード(F1、F2)と、センターポスト(D)から出ているセンサーコード(D2)を上部から図(ViewB-1)のように通します。

パネルホルダー(N)をボルト(P5)、スプリングワッシャー(P6)、平ワッシャー(P7)で固定します。

この時センサーコード等を挟み込まないように中止して下さい。



## 組立方法 ( 4 )



### (手順6)

#### デコレーションカバーを取り付けます。

まず、仮止めされているネジ ( K 3 ) を取り外し、デコレーションカバー ( K 1、K 2 ) をネジ ( K 3 ) で固定します。

#### 表示パネルを取り付けます。

表示パネルホルダーから出ているセンサーケーブルを表示パネルのセンサーケーブルと接続します。

接続したら、表示パネルを取付ステーにカチッというところまで、はめ込みます。

この時、各センサーケーブルを挟み込まないようにケーブルをゆっくりと引っ張りながら、表示パネルをはめ込みます。

リアデコレーションカバー ( M ) をネジ ( D 3 ) で固定しますが、この時センサーケーブルを挟み込まないように注意してください。

## 組立方法（ 5 ）

### （手順 7）

左右のペダル（ J 1、 J 2 ）を本体クランクに取付けます。

左ペダルは左回し（逆ネジ）反時計回り、右ペダルは右回しの時計回りでクランクにねじ込みます。

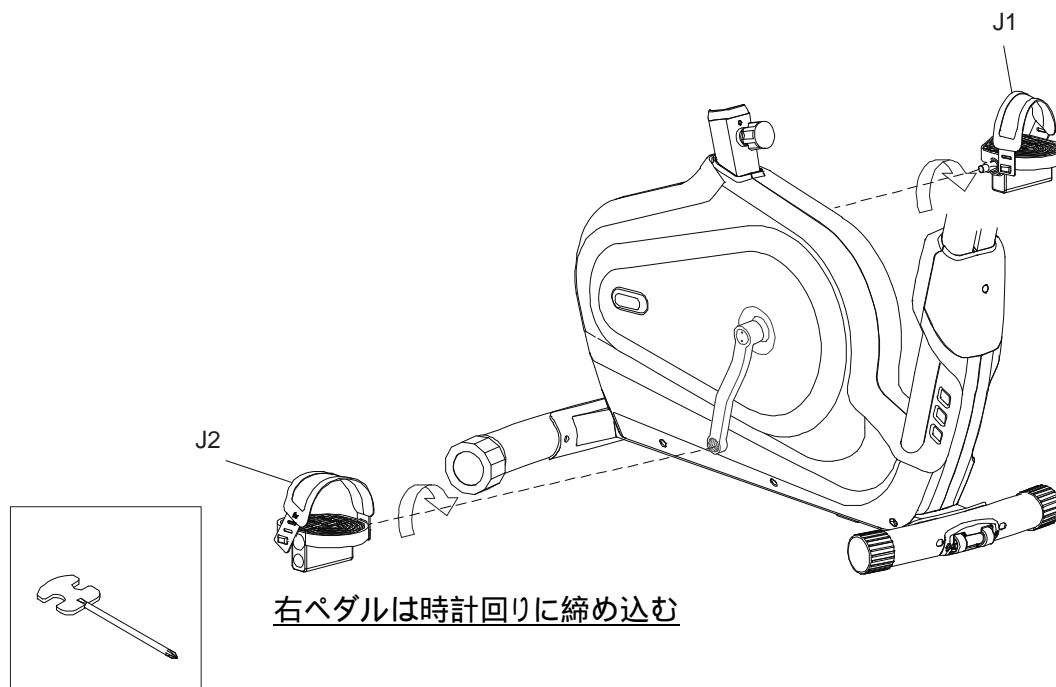
ペダルの裏側と軸やペダルストラップに、左は（L）、右は（R）の刻印がありますので間違えないように確認してください。

ペダルを取付ける時は、最初は指でペダルのネジ山の付け根を持って、ネジ穴にまっすぐに合わせ 2～3 回転ねじ込みます。その後、付属の工具でしっかりと固定してください。

締め付けが弱いと運動中にペダル部より“コンコン”と異音が発生します。

ネジ山が合っていないまま締めつけると、ネジ山が壊れますのでご注意ください。

左ペダルは反時計回りに締め込む



以上で、完成です。

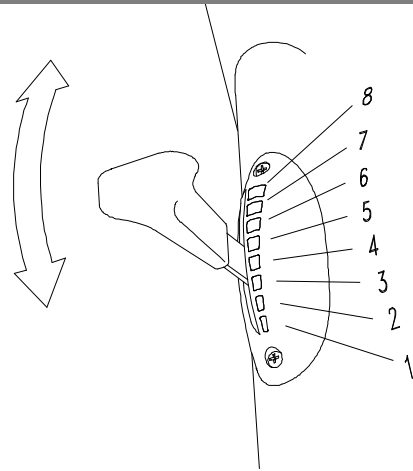
# 負荷レベル調整方法・電池交換・本体の移動について

## 負荷レベル調整方法

運動目的に合わせて負荷調整レバー(1~8)を動かし調整してください。

負荷調整レバーは8段階で負荷を調整でき、「1」側がペダルの負荷が軽く、「8」側は重たくなります。

負荷レベルを変更しても、パネルに表示される消費カロリーの増え方は変化せず、どの負荷でも一定の増え方になります。



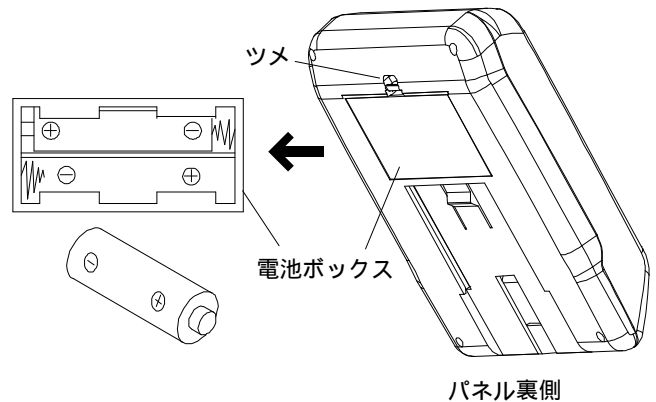
## 電池交換

電池はテスト用として付属しています。文字が薄くなったり、表示が消えたりしましたら、別にお買い求めいただいて電池を交換してください。

パネル裏側にある電池ボックスカバーのツメを押しながら、開けてください。

単三電池2本を使用しています。2本とも新しい電池と交換してください。

(+、-を間違わないでください)



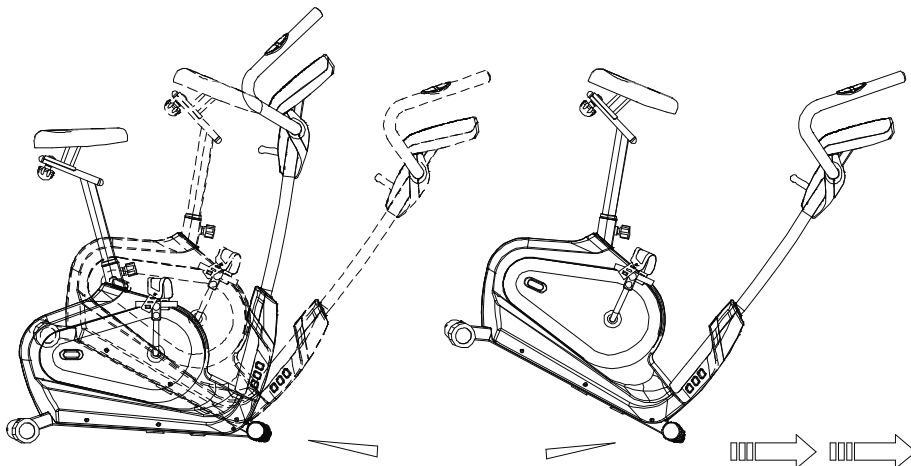
使用済み電池を家庭ゴミといっしょに捨てないでください。

電池は保証の対象外です。

## 本体の移動

フロントスタンドには移動用のキャスター (TRANSPORTATION WHEEL) が組み込まれています。

本体を移動する時は図のようにF：ハンドルバーを押し下げて移動します。



# 表示パネルの使用方法について



## AUTO START 機能

ペダルを回し始めると各項目が自動的にカウントを始めます。

## AUTO POWER OFF 機能

運動を止めてから約4分後に節電の為、自動的に表示が消えます。

## ボタンについて

モード	各項目の切り替え時に使用します。 長押しすると全項目がリセットされます。
アップ	各目標数設定時に目標値の数値が増えます。
ダウン	各目標数設定時に目標値の数値が減ります。
体脂肪測定 / B.M.I	体脂肪率 (FAT%)、BMI値を測定します。(P. 12)
リカバリー	運動終了後に体力評価を行う時に使用します。(P. 11)

## 各表示について

スキャン	<b>SCAN</b> マークが表示されたときに、表示項目が約5秒毎に巡回表示します。
ストップ	運動を止めると <b>STOP</b> マークが表示され、運動時間が止まります。
回転数	1分間あたりのペダルの回転数を表示します。(単位 = RPM)
速度	運動中のスピードを表示します。(単位 = km/h)      ,      は交互表示されます。
時間	運動時間を表示します。      表示範囲 = 00分00秒 ~ 99分59秒
距離	走行距離を表示します。(単位 = km)      表示範囲 = 0.00km ~ 99.99km
カロリー	消費カロリーを表示します。(単位 = kcal) 表示範囲 = 0 ~ 9999 kcal
脈拍数	ハートレートグリップを握る事により、脈拍数を表示します。 脈拍測定中は、"♥" が点滅します。
体脂肪測定評価	体脂肪測定により (S,M,L,XL) のいずれかに評価付けされます。

上記の項目は全て換算推定値であり、目安程度としてご活用ください。

## クイックスタート

ペダルを回し始めると、表示パネルの各項目がカウントを始めます。(AUTO START 機能)

負荷調整レバーを動かし、お好みの負荷レベルに調節します。

運動中は、回転数 / 速度が交互表示されます。

表示パネル部左上箇所 **SCAN** が表示されている時は、表示項目が順次切り替わっていきます。

モードボタンを押すと、**SCAN** が消えますので、表示部に常時表示させたい項目を選択することもできます。



運動を止めると、表示部のカウントも止まります。

停止状態が約4分間続くと、自動的に表示は消えます。(AUTO POWER OFF 機能)

再度運動を始めるか、いずれかのボタンを押すと再び画面表示されます。

## ユーザー設定について

ユーザーは[U 1] ~ [U 9] (9人分) まで設定ができます。

性別 [SEX] (女性: / 男性: ) を選択します。



左が女性、右が男性

年齢 [AGE] (10 ~ 99歳) を入力します。(初期値: 35歳)

身長 [HEIGHT] (100 ~ 200 cm) を入力します。(初期値: 168 cm)

体重 [WEIGHT] (20 ~ 150 kg) を入力します。(初期値: 68 kg)

ただし、消費カロリーはペダルの回転数から算出して表示しております。この製品の構造上、負荷レベルを調整しても消費カロリーの増え方は変化しません。つまり、負荷を一番重くした時でも、一番軽くした時でも、「カロリー」の表示は同じ数値が出るようになります。

しかし、実際には同じ回転数(スピード)で運動した場合、当然のように負荷が重い状態で運動した方が激しい運動になりますので消費カロリーは多くなります。その為、「カロリー」の数値はあくまで目安であることをご理解いただきご使用ください。

パネルの表示は約4分間、操作・運動をしないと自動的に切れます。(AUTO POWER OFF 機能)  
ただし長期間使用されない場合は無駄な電池の消耗や腐食を防ぐ為に、電池を取り外して保管することをおすすめします。

# 表示パネルの使用方法について

## 目標値の設定について

「モード」ボタンを長押し、全ての数値をリセットし初期状態に戻します。  
ユーザー選択し、「モード」ボタンで進んでいき、体重入力後に「TIME 0:00」が点滅致しますので、[時間]、[距離]、[カロリー]、[脈拍数]の項目のうち目標値を設定したい項目を「モード」ボタンで順送り選択し、「アップ」、「ダウン」ボタンで設定値を入力します。  
点滅している項目に、目標値を入力できます。

目標値設定範囲： 時間： 0(分):00(秒)～99(分):00(秒)(1:00 毎)  
距離： 0.00～99.5(km) (0.5km 毎)  
カロリー： 0～9990kcal (10kcal 毎)  
脈拍： 30～240PULSE

目標値を入力してから、運動を始めると目標設定した項目が減算表示します（脈拍数以外）  
目標値に到達するとアラームで知らせます。その後は加算表示されます。

目標値に脈拍数を設定した場合、脈拍数が目標値を超えている間、常にアラームが鳴ります。  
目標値は複数の項目で設定可能です。その場合、いずれかの項目が目標値に到達する度に、アラームが鳴ります。

## リカバリー（体力評価）について

リカバリーによるトレーニング直後と回復後の脈拍数を比較する事は、運動能力及び回復力を手軽に判定するのに有効な手段です。運動を定期的に継続していくと評価が向上します。

運動終了後に、ハートレートグリップを握り、脈拍数を表示させます。表示値が出たら、「リカバリー」ボタンを押します。

コンピューターが60秒間脈拍数を測定しますので、ハートレートグリップを握ったまま、静かにお待ちください。この間、時間は60秒をカウントダウン表示されます。

運動終了後すぐの脈拍数と、60秒後の脈拍数を比較し脈拍数の回復力を[F 1]～[F 6]で評価し、表示します。回復能力は[F 1]が最も優れ、[F 6]が最も劣ります。

表示を確認されましたら、もう一度、「リカバリー」ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

運動直後と回復後の脈拍数を比較する事は、運動能力を手軽に判定する有効な方法です。

リカバリー（体力評価）は、トレーニングを行った後の1分間のクールダウンでどこまで安静時の脈拍数に近づくことができるかを評価する手段となります。

運動を定期的に継続していくと評価が向上します。

## 体脂肪測定 / B.M.I について

体脂肪率 ( F A T % )、B M I 値を測定します。

ユーザー 1 ( U 1 ) が測定対象となります。

ユーザー設定していない場合は登録が必要です。

通常ご使用されている状態で、「体脂肪測定/B.M.I」ボタンを押します。

” 0000 ” が点滅表示されますのでハートレートグリップを握ると、計測を始めます。

約 8 秒間で測定が完了し、測定値が表示されます。

しっかり握っていない場合、エラー 1 ( E R R 1 ) が表示されます。

測定結果の “ 体脂肪率 ( F A T % )、評価 ( S, M, L, X L ) ” と “ B M I 値 ” を繰り返し表示します。

約 2 0 秒間表示された後、トレーニングモード選択画面に戻ります

もう一度、「体脂肪測定/B.M.I」ボタンを押しても、トレーニングモード選択画面に戻ります。

### 体脂肪測定評価表

評価	S 低い	M 標準	L やや高い	X L 非常に高い
男性	10%以下	10%-19.9%	20%-24.9%	25%以上
女性	20%以下	20%-29.9%	30%-34.9%	35%以上

上記の項目は換算推定値であり、目安程度にご使用下さい。

**体脂肪率 ( F A T % ) とは**・・・体重に占める体脂肪の割合です。

例) 体重が 6 0 k g で、体脂肪率が 2 0 % なら体脂肪は 1 2 k g となります。

一般的に、男性は 1 0 ~ 1 9 %、女性は 2 0 ~ 2 9 % が適正範囲といわれております。

**B M I ( B O D Y M A S S I N D E X : 体格指数 ) とは**・・・体重と身長バランスをチェックして外見の肥満度を調べる指数です。

$$B M I = \text{体重 ( k g )} \div \text{身長 ( m )}^2$$

一般的に “ 1 8 . 5 ~ 2 5 までは適正範囲で、最も健康的な値 ” 2 2 ” が標準といわれております。

# トレーニングについて

運動の目的・効果を正しく理解して、健康で快適なトレーニングを始めましょう。

運動には無酸素運動(アネロビクス)と有酸素運動(エアロビクス)があります。

無酸素運動は短距離走や重量上げなど瞬発力や短い時間に大きな力が要求される運動で、筋力がアップします。

一方、有酸素運動は自転車・ジョギング・水泳など全身の持久力が主体で、酸素を体内にどんどん取り入れる事で、循環器・呼吸器機能が向上し、健康の維持に大きな効果があります。

また、15分以上の運動を継続することで、脂肪燃焼が促進されダイエットに効果的です。

## 【目的】

体力の維持・向上

精神的ストレスの解消

肥満解消・シェイプアップ

## (目的別トレーニングの目安)

目的	項目	内容
健康増進トレーニング	運動の頻度	1週間に3~5回以上 / 1回20~30分程度
	目標運動強度	推定最大脈拍数の60~75%となるように運動する
肥満対策トレーニング	運動の頻度	1週間に3~7回以上 / 1回20~60分程度
	目標運動強度	推定最大脈拍数の55~70%となるように運動する
心肺機能強化トレーニング	運動の頻度	1週間に3~5回以上 / 1回20~60分程度
	目標運動強度	推定最大脈拍数の70~85%となるように運動する

$$\text{推定最大脈拍数} = 220 - \text{年齢}$$

上記の表より、目的にあった運動を選択し、「運動の頻度」と「目標運動強度」の条件を満たすように運動してください。

上記は一般的なトレーニングの目安です。運動する人の健康状態・体力・運動経験などにより個人差があります。健康状態やその日の体調に合わせて、無理をせずマイペースで行ってください。

また、運動の前後には十分なウォーミングアップとクールダウン(ストレッチングなど)を行いましょう。

## トラブルが起きたら・製品仕様について

ご使用中に異常が発生した場合は、まず次の点をチェックしてください。  
それでもトラブルが解消されなければ、お求めの販売店・代理店までご連絡ください。

トラブル内容	対処方法	手順参照
電源 ON にならない (表示がない・カウントしない)	パネルへのコードをしっかりと差込んでください。	P.10 - 手順 3、 P.12 - 手順 6 参照
	電池の差し込み方向 (+、-) を確認してください。	P.8 参照
パネルの表示が薄い	新しい電池と交換してください。	P.14 参照
脈拍数が測定できない	パルスコードの接続を確認して下さい。	P.12 - 手順 6 参照
	ハートレートグリップを両手でしっかりと握って下さい。	P.15 - 参照
脈拍数が異常に増加する	ハートレートグリップを握っている間は、激しく手や体を動かさないでください。正しく測定できません。	P.15 - 参照
電源がオフにならない	操作をせずに約 4 分経過すると自動的に画面は消えます。(AUTO POWER OFF 機能)	P.16 参照

## 製品仕様について

製品の仕様および外観などは改良のために、予告なしに変更することがあります。

品名	REMARK 家庭用マグネットバイク
品番	FB-680HP
形式	マグネット負荷方式バイク
カラー	ホワイト×グレー
負荷方式	マグネット負荷方式(8段階調整)
本体サイズ	940(L) × 530(W) × 1320(H) mm
材質	スチール鋼管、ABS / PP / PU 樹脂
使用電源	単三電池 2 本
使用体重制限	100kg
本体重量	28.2kg
使用室内環境	温度: 6 ~ 40 湿度: 80% 以下
原産国	中国

# 保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品名	REMARK 家庭用マグネットバイク
製品番号	FB - 680HP

お買い上げ日： 年 月 日

保証期間はお買い上げの日から1年です。 業務用としての使用は保証の対象外です。

お名前

ご住所

電話番号

ご購入後、ご記入願います。ご記入のない場合、保証が受けられない場合があります。

- 取扱説明書の注意に従った正常な使用環境と使用状況で、万一品質上の不具合が発生した場合において、消耗品を除き、納入後1年間を原則として販売店が保証修理致します。
- 保証修理は補修または部品の交換により実施し、これにより取り外された不具合部品は株式会社フジモリの所有物となります。
- 出張修理の場合は、出張費を請求する場合がありますので予めご相談下さい。
- 保証修理をお受けになる場合には、製品保証書の提示が必要となります。
- 保証期間内においても、保証書の提示がない場合は、無償修理の対象になりませんので保証書は大切に保存して下さい。
- 保証期間内であっても、次の場合は有償にての修理となります。
  - 誤用、乱用及び取扱の不注意によるもの
  - 弊社が認めた技術者以外によって修理や改造をしたとき。
  - 火災、水害、地震、落雷及びその他の災害、戦乱、争乱によるもの。
  - 部品の通常の摩耗、又は、経年劣化
  - 運送途中、備え付け時と使用時に生じた傷、色の退色、及び外見上の変化。
  - 機能に影響のない感覚的現象（音、振動など）
- その他の保証対象免責事項
  - 運送、販売の作業によって引き起こされた費用（備え付け、除去にかかる費用）
  - 取扱説明書の遵守に従わない使用によって起きたあらゆる損害。
  - 保証期間内中でも使用できなかった事による期間損失等の費用。
- 当社の全責任は、全ての環境下で本体の出荷価格を超えることはありません。なお、製造物責任法にかかる係争については、富山地方裁判所高岡支部を第1審裁判所と致します。
- 製品は日本国内の屋内施設の使用に限定し、この保証規定は日本国内の使用に限り有効です。

販売店



— Fitness & Bicycle —  
**株式会社フジモリ**

〒933 - 0831 富山県高岡市若富町 186  
TEL.0766-21-0958 FAX.0766-21-0957  
E-mail [fitness@fujimori-r.com](mailto:fitness@fujimori-r.com)

***REMARK***